

## 平成 28 年度原子力総合防災訓練の概要

## 1. 原子力総合防災訓練の概要

原子力総合防災訓練は、原子力災害の対応体制を検証することを目的として、原子力災害対策特別措置法に基づき、原子力緊急事態を想定して、国、地方自治体、原子力事業者等が合同で実施する訓練。

## 2. 平成 28 年度原子力総合防災訓練の概要

- (1) 対象 北海道電力株式会社 泊発電所
- (2) 実施時期 平成 28 年 11 月中旬
- (3) 想定事象 泊発電所において、地震発生を契機として事態が進展し、原子炉への注水機能喪失により全面緊急事態に至り、放射性物質が放出される事象を想定。
- (4) 訓練目的 国、地方公共団体、原子力事業者における防災体制の実効性の確認等  
原子力緊急事態における、中央と現地の体制やマニュアルに定められた手順の確認  
「泊地域の緊急時対応」に基づく避難計画の検証  
訓練結果における教訓事項の抽出、緊急時対応等の改善  
原子力災害対策に係る要員の技能の習熟等
- (5) 訓練内容 原子力災害対策本部及び原子力災害現地対策本部の設置、原子力緊急事態宣言の発出、原子力災害対策本部会議の開催、住民の避難等
- (6) 要素訓練(冬季) 冬季の降雪や積雪を考慮した、除雪や避難の手順等を確認する要素訓練を冬季に実施